

日本初も！ 中山間地域の活性化に取り組む「ひろしま里山・チーム500」登録者 子育てをサポートする新たな取組に向けて、クラウドファンディングを実施中

- 育児の負担軽減をサポート、地元農家の野菜で作る離乳食「お守り お野菜ペースト」
- 木育の大切さを伝えながら、子育てもサポートする「木育トラック」

広島の中山間地域で、さまざまな地域づくり活動を実践している人たちが集うプラットフォームである、「ひろしま里山・チーム500」の登録者のうち、約半数が活動を維持・継続させるための資金獲得を課題としています。

そのため、県は、クラウドファンディング（以下「CF」という。）の活用を通じて、県内外から活動に必要な資金調達ができるよう、支援に取り組んでいます。

令和5年7月に、チーム500登録者を対象としてCFの基本から実践までのノウハウを学ぶ勉強会を開催し、その後実際に6名がCFにチャレンジしており、そのうち2名は現在、募集を行っています。

県内の中山間地域の発展のため、様々なアイデアで取り組むチーム500メンバーの活動について、ぜひ取材をお願いします。取材を希望の場合はお繋ぎしますので、中山間地域振興課までご連絡ください。

現在募集中の取組



育児の負担軽減をサポート 地元農家の野菜で作る、 離乳食「お守り 野菜ペースト」

CF 期間: R6. 2. 14~R6. 3. 14

実施者: 田野実 温代 (たのみ あつよ)

目標金額: 600 千円

支援金の使途: 新商品製造費など

共働き世帯で、仕事をしながら育児を行う家庭が多い中で、こどもの離乳食は手間がかかるものの代表です。実際に離乳食期を体験した親御さんにヒアリングを行ってみると、「安全なものを食べさせたい」「自分の手もかけて作ってあげたい」と愛情を注いであげたい思いがある一方で、「時間がない」「大変な調理は頼りたい」「子供が食べてくれない」など、困っている部分を助けてほしいという声も多くありました。

そこで、地域野菜の加工食品をつくってきた「野菜Labo」と思いに賛同した「広島大学チーム」が連携し、2年間共同で離乳食の開発を行い「お野菜ペースト」を開発しました。

【お野菜ペーストの特徴】

- ・ 必要なぶんだけ割って使えるシート形状
- ・ 単品でも、他の食品にも混ぜ込んでも使えるペースト状
- ・ アレルギーに配慮し、小麦粉、酒など不使用
- ・ 東広島で育った、農薬・化学肥料不使用の野菜を使用



日本初！ 木に触れる機会を提供しながら 育児もサポートする「木育トラック」

CF 期間：R6.2.1～R6.3.31

実施者：一場 未帆（いちば みほ）氏

目標金額：3,000千円

支援金の使途：車両調達改修費など

ウッドデザイン賞8年連続受賞するなど、多数のアワードに輝いたデザイン性の高い木育おもちゃを製造販売しているプロジェクトオーナーは、木育おもちゃやワークショップによる子育て支援や、木育を通じた木の魅力と可能性の情報発信を多世代に実施したいと考え、多目的なイベントを行う木育デリバリー事業をスタートしました。

デリバリー事業を進める中で、子どもが休憩できたりおむつ交換や授乳ができるなど、親子が安心して過ごせる機能を備えた場所があれば、より楽しく安心してお出かけができるのではないかと考え、日本の森の木に触れながら、育児のサポートを行うステーション「木育トラック」の開発に至りました。

また、現在、日本で流通している木製のおもちゃの多くは輸入された海外の木でできています。日本の森の木でおもちゃなど木製品を作ることは、森に必要な人の手が入り、資源の循環とともに産業や経済を回していくことにも繋がります。

【木育トラックの特徴】

- ・日本初、移動式の木育トラック
- ・トラックは授乳室やおむつ替えシートなどの機能を備え、親子が安心して遊べる
- ・内装は木質化
- ・災害時は緊急支援車両に

■取組の詳細はこちらから <https://camp-fire.jp/projects/view/651729>